

gifunet

東京岐阜県人会・会報誌ギフネット

人もまた空を目指す。

木曽川左岸に再生された遊歩道。
まるで空へと届くかのように
伸びゆく竹を見上げ、思いを馳せる。
かぐや姫が帰っていったあの月に。

2022
SPRING & SUMMER
vol. 76

可児市・木曽川渡し場遊歩道(かぐや姫の散歩道)
photo by: Gouma Midorikaze



OKBパートナーズとOKB工房

障がいがある方の自立サポートや雇用の創出・拡大に向けたさまざまな取り組みを行っています。



OKBの特例子会社である株式会社 OKBパートナーズは全国第1号となる「もにす認定」を取得しております。



OKBキャスト

ヨーヨーや手品など多彩な特技をもつOKBグループ社員で結成された「OKBキャスト」。OKBや地域のイベントでパフォーマンスを披露し、大活躍しています！



OKBキッチンバス・OKBどこでもマルシェ

キッチンカーや移動販売車として地域のイベントなどに出演し、イベントを盛り上げています！

運営：正和商事 株式会社

OKB 大垣共立銀行

東京支店 03-3552-5151 / 東京事務所 03-3552-8093
東京都中央区八丁堀2丁目6-1

令和4年度 東京岐阜県人会 行事予定

総会懇親会

日時：令和4年11月14日（月）

ゲスト：未定

開 会：18時

参加費：8,000円

会 場：明治記念館

※開催通知は、改めてご案内いたします。

夏の講演会

夏の講演会企画

新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない現状ではありますが、令和3年度は上記の行事を予定しております。直前の状況次第では残念ながら開催中止とせざるを得ないこともあります。ホームページ等で情報をご確認下さい。

また、このような状況でありますので、フェロシップ委員会、青年部、レディース倶楽部の活動については、暫く見合わせております。開催可能な状況となりましたら、改めてホームページ等でご案内させていただきます。

※ホームページをリニューアルいたしました (<https://apgifu.org/tokyo>)。東京岐阜県人会の情報、岐阜県からのお知らせ、各種申込サイトにも使っていきたいと思っておりますので、ご活用いただけましたら幸いです。▶



Index

ごあいさつ	3
岐阜県人会インターナショナル	4
閑話休題「子宮移植を考える」	6
東京岐阜県人会令和3年度の活動を振り返って	7
自走型保護猫カフェ「ネコリパブリック」	8
飛騨を舞台にした映画「木樵」	10

2020 岐阜にイラストレーターが集う	12
岐阜県学生会館「一瞬の永遠」	14
岐阜県学寮「岐阜県学寮の取り組みと先輩との別れ」	15
貝印 present's	18
TOPIC	19

ウィズ・コロナからアフター・コロナへ



岐阜県知事

古田 肇

東京岐阜県人会の皆様には、日頃より岐阜県政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症はいまだ猛威

を振るっており、この未曾有の「国家的危機事案」との闘いは3年目に突入しました。東京岐阜県人会におかれましても、2年連続で総会・懇親会を中止されるなど、様々な困難に直面されたと存じます。本年は、創設120周年という記念すべき年を迎えられることから、会員の皆さまが相互に親睦を深め、ふるさと岐阜に思いを寄せていただける機会が得られることを心より願っております。

さて、岐阜県では、令和4年度は「ウィズ・コロナからアフター・コロナへ」をテーマに取り組みを進めてまいります。

まず、「ウィズ・コロナ」対策としては、病床、宿泊療養施設など医療提供体制の確保、大規模接種会場の設置をはじめとするワクチン接種体制の整備などに加えて、コロナ禍を契機とした「孤独・孤立対策」や中小企業等への経営支援及び雇用確保対策などを推進してまいります。

次に、「アフター・コロナ」対策としては、「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づく施策の展開、「SDGs・脱炭素社会の実現」、ワーケーション・サテライトオフィス等の誘致や宇宙産業の育成など「新次元の地方分散及び産業創出」に取り組んでまいります。

さらに、コロナ対策とともに、「清流の国さぶくり」も着実に前に進めてまいります。先般、北京で開催された冬季オリンピック大会では、本県ゆかりの選手である堀島行真選手（フリースタイルモータースポーツ）、村瀬心椛選手（スノーボードビッグエア）、永井秀昭選手（ノルディック複合団体）が出演され、その全員が、見事銅メダルを獲得するという快挙を成し遂げられました。

こうした本県ゆかりのアスリートの活躍も力としつつ、「スポーツ立県・ぎふ」を推進してまいります。

また、観光振興及び国際交流の取組みとして、来年の大河ドラマ「どうする家康」にちなんだ近隣県との連携強化、「岐阜関ヶ原古戦場記念館」を核とした戦国・武将観光の推進、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」への新たな展示機体の導入、日リトアニア友好100周年記念交流事業などにも取り組んでまいります。

最後に、東京岐阜県人会の益々のご発展と、皆様の一層のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

多様性を認める文化の醸成を目指して



東京岐阜県人会会長

吉村 泰典

いかに無力であるかが示され、お互いの違いを認め、多様性を理解し尊重し合うことの大切さを教えてくれています。本来民主主義とは、多数派の意思を尊重する一方で個人および少数派集団の権利を擁護するものであり、小さな意見も見逃さず全体の調和と合意を図り、皆が納得するような結論を導き出すことが要求されます。

わが国は少子高齢化の真只中であり、特に少子化は喫緊かつ最大の課題です。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で少子化問題は置き去りにされるばかりか、コロナ禍での子育てで不安からさらに加速することが危惧されます。コロナ禍では、不安定な雇用や収入減に加え、登校自粛などによる子どもたちの精神発達への強い懸念、在宅勤務でのテレワークと子育ての両立の難しさ、さらには孤独な子育てに伴う親のストレスの増加などにより、子育てで世代である一部の人々にしわ寄せが広がっています。

コロナ禍で露呈した様々な子育て不安の除去は、今後の少子化対策の大きな課題となります。従来の少子化対策である働き方改革、雇用の確保、子育て環境の整備に加えて、新しい支援の形が必要となります。そのためには多様性を認める社会に変貌を遂げなければなりません。日本での婚外子は2%に過ぎず、婚姻関係になければ子どもが産めない状況にあります。望んで結婚せず子どもを産んで育てたいという希望は、婚姻にかかわらず叶えられるべきです。社会が多様な選択肢を示すことで豊かな未来が約束されることとなります。

多様性を認める社会でないことが、わが国の出生率の低さに表れています。少子化は社会を映す鏡であり、社会の歪みの結果が、少子化という現象になって表れていることを直視すべきです。少子化問題を国民一人ひとりが真正面から受け止め、社会の文化や風土を見直さない限り解決は難しいと言わざるを得ません。わが国にレジリエントな未来をもたらしてくれるのは女性と子ども達であり、少子化を打破するには多様性を認める文化の醸成が肝要です。心健やかに産み、安心して子育てのできるような社会、若い世代が子どもをつくりたいと思う社会を目指すことが少子化脱却への近道です。

コロナ禍で自国民優先の思考いわゆるナショナリズムが顕著になっている現在、感染には国境がないことから自国の利のみに向けた行動が

岐阜から世界へ！」



淳也飛騨市長から、魅力ある地方都市の活性化について、ご講義頂きました。第二部として、在仏岐阜県人会の国枝玄さん（池田町出身）が、「臨時外交官」としての色々なご経験を紹介しつつ、外から岐阜を見つめることの意義について言及されました。

設立以降、3回実施しましたが、第1回、第2回ともに、80名程度の方にご参加いただいております。第3回については、90名を超える方々にご参加いただきました。参加者からは、「毎回定例会を楽しみにしている。岐阜県の知見を深め、海外で活躍する岐阜県人を紹介頂き、同県人として心強く思い、世界を身近に感じるようになった。」との感想を頂いております。貴会の皆様方も、ぜひお気軽にご参加いただければと思います。

また、今年の元日には、地元ケーブルテレビCCNとのコラボで、3時間特別番組が生放送され、12時間の時差があるブラジルの年越しをリアルタイムでご覧いただくなど、世界で頑張る岐阜県人と同じ時間を共有することができ、大好評をいただきました。

今後の取り組みとして、岐阜の魅力発信や経済ミッションのアシスト、留学や駐在のフォロー、海外岐阜県人会子弟の母県訪問と県内小中高生等との交流の手段であるサマーキャンプやホームステイなどに取り組んでいきたいと考えています。

こうして皆様のご協力を得ながら、県民の方に少しでも多くGKIのことを知っていただきたいという思いです。

そうした中、GKIは大きな目標に向かって、粛々と



準備を進めている大イベントがあります。本年10月29、30日に、OKBふれあい会館及びサランカホールにおいて、国内外の岐阜県人が集い、語らい、絆を深め、岐阜県人としてのアイデンティティと誇りを再認識し、岐阜の素晴らしさをアピールしようと、「第一回岐阜県人世界大会」を開催します。

世界大会の開催にあたり、昨年11月に南加岐阜県人会の水谷ハッピー世界大会実行委員長と共に訪岐し、10日間で、50名以上の方々にお会いし、ご協力をお願いをしました。

昨年末の県議会定例会においては、広瀬修岐阜県議会議員からのGKIに関する一般質問に対して、「県の頼れるパートナーになっていただく事を大いに期待する。」と、古田肇岐阜県知事からの答弁を頂き、大変感動しました。そのご期待にGKI一団となってお答えしなければと襟を正しました。

本年10月の世界大会では、国内外各地にいる岐阜県人が一堂に会する貴重な機会ですので、ぜひとも、みなさまにご参加いただき、一緒に岐阜愛を語り合ひましょう。皆様にお会いできることを楽しみにしています。

最後に貴会の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

（岐阜県人会インターナショナル会長：長屋充良）





岐阜県人会インターナショナル 「岐阜愛を繋ぐ！ 世界から岐阜へ！」



初めまして。岐阜県人会インターナショナル（GKI）会長を務めます、ブラジル岐阜県人会会長の長屋充良（関市板取出身）と申します。

本年は、東京岐阜県人会創立120周年の年と伺っています。そのような節目の年に「ギフネット」への記事掲載の機会を賜り、大変名誉な事と、会を代表しまして心より感謝申し上げます。

昨年5月に、世界24岐阜県人会（当時）が加盟するGKIが、オンラインにて設立されました。設立以降、新たに、関西岐阜県人連合会（大阪、京都、神戸岐阜県人会）及びオーストラリア岐阜県人会が加盟し、現在では、26の岐阜県人会が加盟しています。

私は、10年近くブラジル岐阜県人会にお世話になっていますが、当初より縦（県-岐阜県人会）と横（岐阜県人会間）の関係強化のため、各海外県人会に対し、ネットワーク構築の必要性を訴えていましたが、実現はしませんでした。しかし、そのチャンスが、なんとコロナ禍によって到来し、オンラインによる情報交換が日常化したため、実現への足掛かりとなりました。昨年3月に世界の岐阜県人会の方々が一堂に会するオンライン会議を開催し、意見交換を行い、その後、世界岐阜県人会設立準備委員会を立ち上げ、昨年5月の設立総会へと結実しました。

10年来の思いが、僅か3ヶ月で叶い、まさに奇跡が起きました。国内外で頑張っている岐阜県人にとって、生まれ育ち、我々を育ててくれた故郷、岐阜に恩返しをし

たいという思いが、我々を繋げてくれたことでしょう。

「岐阜愛を、世界から岐阜へ、岐阜から世界へ繋ぎ、岐阜の素晴らしさを国内外問わず、アピールしていく！」という合（愛）言葉で、設立されたGKIですが、実際に色々なイベントを実施しています。年三回程度、有識者による岐阜学講座、GKIメンバーによる講演、小グループに分かれての意見交換を行なう「GKIオンライン定例会」や、県内教育機関と連携し、GKIメンバーによる小中高生等に対するオンライン授業を実施する「ギフセカプロジェクト」等を実施しています。

毎回多くの方にご参加いただき、好評をいただいています、オンライン定例会の様子をご紹介します。

第1回（2021年7月）は、柴橋正直岐阜市長から、シビックプライドによる「街づくり」について、生まれ変わる岐阜市の整備構想を、エネルギーにご講義頂きました。第二部として、カンボジア岐阜県人会会長の西えりこさん（高山出身）が、カンボジアの貧困層の無料医療制度を確立されたお話で、非常に感動しました。

第2回（2021年10月）は、岐阜女子大学の丸山幸太郎教授から、「古田織部」についてご講義頂き、「共生」という彼の生き様に感銘しました。第二部として、ワシントン D.C.岐阜県人会の宮島智美さん（土岐市出身）が、元高校教師から世界銀行に入学し、世界を股に掛けて奮闘されたお話で、世界に目を向ける良いきっかけになったと思います。

直近に行われた、第3回（2022年2月）は、都竹

閑話 休題

吉村 泰典

子宮移植を考える

子宮移植は、養子縁組や代理懐胎に続く第三の選択肢として、海外では2000年代から試みられてきています。スウェーデンや米国などで計40例の出産が報告されています。しかし、患者の救命とは異なる出産という目的のために、提供者が多なるリスクを背負う移植医療が許容されるのが大きな問題となっています。海外で2021年3月までに報告された85例中63例が、健康な人から子宮を提供してもらう生体移植です。他22例は脳死の人からの提供です。現在、わが国でも生体移植は肝臓や腎臓で多数行われています。しかし、いずれも生命維持に欠かせない臓器であり、子宮とは根本的な違いがあります。

移植医療は脳死と判定された人がドナーになるのが基本です。臓器移植に関する国の指針には、生体移植はやむを得ない場合に例外として実施されるとあります。子宮は脳死移植の対象になっていないため、日本医学会はその法令の改正を求めつつ、実現には課題があり時間もかかるとして、生体移植の容認の判断に至りました。

生体移植は、肝臓や腎臓などで実施されていますが、提供者が死亡する事故も起きています。子宮の摘出手術には5〜10時間かかり、大量出血の恐れもあります。肝臓や腎臓よりも手術のリスクは大きいとされています。そのため、日本医学会はルールに基づく臨床研究の形で少数

例に限って容認しています。移植を受ける人の条件は、生まれつき子宮がない女性やがん患者で、移植後出産できる可能性が高い40歳以下などとしています。

提供を受ける側の負担も小さくありません。移植後は免疫抑制剤の服用が必要なうえ、子宮が正常に機能したとしても妊娠・出産に至るとは限りません。分娩の際には帝王切開となり、出産後には子宮を摘出しなければなりません。母親の免疫抑制剤の使用による子どもへの影響についても長期のフォローアップが必要となります。海外での先行事例を見ると、母親や姉がドナーとなる例が多くなっています。子宮移植という選択肢ができることで提供者になりうる親族に心理的な重圧がかかる懸念もあります。子どもを産むことが女性に必須の役割とする家族内や社会の圧力が増す恐れもあります。

首尾よく技術として確立しても、それが社会でどの程度支持され広がりを持ちうるかも気になります。移植を受けたくてもドナーが見つからない人も当然予想されます。移植のための費用は約2千万円とされ、だれもが受けられる医療行為ではありません。実施にあたっては、生体移植をする以上は相当厳格に条件を決めたうえで進めるべきです。市民にも開かれた議論の場を設け、調査などを通じて社会の意識を探りながら合意形成に努めることが大切です。

東京岐阜県人会 令和3年度の活動を振り返って

平成3年の明るいイベントは、1年延期された「2020東京オリンピック・パラリンピック」が無観客ながらも無事開催され、テレビ観戦を楽しめた方も多かったことと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症は次々と変異種が現れ、なかなか収束に向かわず、首都圏や岐阜県をはじめ多くの地域に4月、7月には緊急事態宣言、年が明け1月にはまん延防止等重点措置が発出され、人流の抑制が呼びかけられ、多くの人が集まる行事はことごとく中止となりました。

会員相互の親睦と福祉を図ることを目的とする東京岐阜県人会の活動も、人の移動に伴い多くの人が集う行事が中心であることから、昨年度に続き令和3年度も対面の総会懇親会の開催は中止とすることを役員会で決議し、総会議案については書面によりご意見を伺う方法とさせて頂きました。ただ、夏の講演会は緊急事態宣言明けの10月2日に開催いたしました。昨年度は中止となり2年越しで講師をお願いした元フジテレビアナウンサー近藤サト様（土岐市出身）に「私らしい生き方、グレイヘアという生き方」と題して講演頂きました。

各種委員会の活動は中止が続いている状況ですが、会報については、記事収集や編集作業の困難は伴いましたが、前述の講演会記事を掲載し11月初めに秋冬号をお届け



し、今回春夏号と何とか年間2号の発刊は維持しているところですが、令和3年度も会員向けには県人会活動がままならない中、代替的な活動として、頂いた会費を含め県人会の財政の中から、岐阜県に対して寄付を行うことを役員会で決議し、社会的に有意義な活動に役立ててもらいたいと思いをいたしました。

令和4年度は県人会創設120周年の節目の年です。11月14日（月）18時より明治記念館において120周年記念の盛大な総会懇親会を予定しております。今年こそ皆様の元気なお姿を拝見し一緒に語らえることを祈念しております。引き続き、県人会の活動にご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

（幹事長・八木茂樹）



各務原警察署のシンボลมスコット

各務原市の新境川の堤防沿いの桜は「ひやくじゅうらうざくら百十郎桜」と言われて市民に親しまれています。この桜は、各務原出身の歌舞伎役者・いちかわひやくじゅうらう市川百十郎さんが、昭和6年、7年に境川放水路の完成を祝うために桜を植樹されましたが、戦時中の物資の不足から殆ど伐採されてしまいました。

しかし、昭和38年の各務原市制発足を記念して昔の桜並木を復活させる運びとなり、さらに昭和58年には「百十郎桜」と名付けられて、市民に愛されるようになりました。

現在では、「日本のさくら名所100選」にも選ばれています。

また、各務原には「むらくにざ村国座」という芝居小屋もあり、古くからの歴史もあります。

そこでこの度、各務原警察署では、警察としての力強さ

を表現し、かつ、市民に親しまれるシンボลมスコットとして、緊急通報番号の「110番」と桜並木の「ひやくじゅうらう百十郎桜」にかけて、「110番の110郎」という名前の歌舞伎役者のマスコットを考えました。

そして、職員の有志が着ぐるみを作り、令和4年1月10日（月）に各務原市内の大型商業施設で催した「110番の日」啓発イベントでデビューをしました。

今後も市民に愛されるキャラクターとして各種イベントに参加する予定です。

ぜひ東京にお住いの岐阜県人の皆様にも広く知っていただき、温かく見守っていただけると幸いです。



新しいライフスタイルを提案 「リック」“首相”の河瀬 麻花さん



行ないながら、猫と人との新しいライフスタイルを提案している河瀬さん。
てきたノウハウを活かし、これからも猫助けを進めながら、

河瀬さんは、岐阜県大垣市のご出身で、代々続くパン屋さんで生まれ育ちました。昔ながらのお店では定番や看板を担う猫が飼われていることが多いのですが、河瀬さんのご実家もその例に漏れず、小麦粉を扱う家業のためネズミ除けに猫を飼われていたそう、子供のころからそばに猫がいる環境でした。

猫好きが過ぎて、猫を見るたびに拾ってきてしまうような子だったそうです。河瀬さんがどれくらい猫好きかというエピソードを話してくださいました。卒業文集の作文に、将来は猫版のムツゴロウさんになりたい、と書いたそうです。大人になってその夢がかなうことになりました。

高校までは地元におり、大学から東京に上京。大学卒業後も東京に暮らし、29歳頃に大垣の実家に帰りました。その後は一時、名古屋で働いたこともあったそうですが、実家のパン屋を手伝うようになり、それまで店舗事業だけだったのを、当時流行し始めたネット通販へ展開し事業を拡大しました。これは2009年からの岐阜県と楽天の連携協力協定によるEコマース（商品やサービスをインターネット上で売買するビジネスモデルのこと）の普及拡大事業に採択されたことによって実現したものです。ここで起業家同士の勉強会に参加した際に、クラウドファンディングなどで周囲から資金を調達

して新しい事業を起こす時には、出資者からの共感を得ることが重要であることを学んだそうです。

当時はベーグルを焼いて販売しており、商品モチーフに猫を使用したため「猫のパン屋さん」として知られていました。折しも東日本大震災が発生し、被災地の炊き出しに出されるスープなどの料理に合うパンの需要に応える形で、ベーグルだけでなくパンの種類を増やして対応しました。当時、福島では人々の避難により置き去りにされた犬や猫がいました。河瀬さんは現地には行くことができないけれど別の形で動物を救うことはできないかと考え、商品の販売価格にわずかに寄付金分を上乗せし、動物を救う活動を支援するためにそれを使うことにしました。すると同様に動物を救いたいという人たちの共感により大きな売り上げを得て、動物を救う活動を支援することができました。

この「大事な何かをするためにお金を使うことには共感を得られやすい」という経験と、小さいころからの猫好き、そして様々な理由でヒトが手放してしまった猫を救いたいという気持ちから、保護猫活動を事業化することを考えました。これは、2013年から岐阜県が開始した女性・若者支援プログラム「企業支援型地域雇用創造事業」に採択されたことにより実現することができました。



2014年2月2日（ニャンニャンの日）が、保護猫活動の第一歩の日です。「ネコリパブリック」という猫第一の共和国の「建国記念日」で、岐阜市に一店舗目を構えました。河瀬さんは、その共和国の「首相」を務めておられます。

はじめは岐阜県の助成を受けて事業を開始しましたが、徐々に拡大し、現在猫カフェは岐阜県、東京都、大阪府、広島県に合計8店舗あります（フランチャイズ店を含む）。また食堂、（人の）宿泊施設、物販店などにも展開しています。物販店では革製の力パンや財布、布製の力パンや帽子、ハンカチ、靴下などが販売されています。これらの製品はほぼすべて、岐阜県の業者に製造してもらっているそうで、Made in Gifuです。商品のデザインは河瀬さんとデザイナーさんが決め、岐阜県内の職人さんに発注、という流れとのこと。



保護猫カフェを通じて猫と人との 自走型保護猫カフェ「ネコリパブ」

2022年2月22日までに日本の猫の殺処分数をゼロにすることを目指し、猫カフェで保護猫の里親探しをその最初の目標は残念ながらまだかなえられていないのですが、これまでの保護猫活動を通じて培った同時に、これからの人の暮らし方にも新しい風を吹き込みたい、と話してくれました。



「ネコリパブリック」はNPO法人ではなく株式会社として事業運営されており、保護猫活動もこれらの店舗の売り上げにより成り立っています。なぜこの活動を「自走型」で運営しようと考えたのか？一つには、寄付金だけに頼ると収入に波があるため、事業の継続が難しく、まして事業拡大はしづらくなってしまう。そのため一定の収入が見込まれる事業形態が選択されました。また、河瀬さんは代々続くパン屋さんで生まれ育った根っからの「あきんど商人」。お金をもらうにはそれに合った対価と引き換えにするものだという精神の持ち主で、商品でも体験でも、「思い」のようなものでも良いので、お客さんに対する見返りが必要だろうとの考えもありました。企業体として、組織として運営することは事業目標を立てて経営していくことなので、考え方や活動の方向性がぶれないのも、NPOやボランティアではなく企業として運営していくことのメリットだと河瀬さんは教えてくれました。

2022年4月から、「ネコリパブリック」と岐阜県飛騨市が新しい活動に着手します。飛騨市のふるさと納税を利用された方はお気づきかもしれませんが、「ふるさと納税活用ソーシャルビジネス支援事業」に採択され、ふるさと納税を通じて保護猫活動への寄付ができるようになりました。飛騨市の名産品を活かした猫グッズを開発して返礼品とするなど、猫好きの人たちがふるさと納税で猫助けできる仕組みが始まっています。

猫を助けたい思いで始めた事業でしたが、では、保護すべき猫がいなくならないのはどうしてでしょうか。飼い主の高齢化や貧困により猫を手放すという理由もその一つです。つまり、猫を助けなければならぬ問題の裏に、人々が抱える社会問題が潜んでいることに、河瀬さんは気づきました。飛騨市は高齢者が多く、過疎も進んでいます。保護猫活動と地域連携を組み合わせ、街のコミュニティを活性化させたり、高齢者の見守りに活用したり、飛騨市の町おこしにつなげたり、という試みです。これらの活動がうまく軌道に乗れば、他の多くの自治体が抱えている社会問題にもうまく適用させて展開していくことで、猫を助け、人々のライフスタイルも新しく変わっていくのではないかと、河瀬さんは語ってくれました。



河瀬 麻花氏 プロフィール

岐阜県大垣市生まれ。2014年から岐阜市で始めた自走型の保護猫カフェ「ネコリパブリック」の代表取締役で、現在は岐阜、東京、大阪、広島に猫カフェ8店舗、食堂、宿泊施設、物販店を展開。非営利の保護猫シェルターも岐阜と東京の2か所。

ネコリパブリックのHPは <https://www.neco-republic.jp/>

8年間の保護猫活動でたくさん誕生した里親さんによるコミュニティが形成されて活動が活発になっていると伺いました。アパレルブランドもさらに展開し、猫のことをそれほど好きとも思っていない人も、商品の良さを購入してくれたら知らないうちに猫助けになっている、という仕組みも推し進めていきたいそうです。そして飛騨市での猫と人の新しい暮らし方を作り上げる壮大な試み。2022年2月22日、最初に掲げた目標には届きませんでした。が、「ネコリパブリック」8年間の活動で得てきた経験やノウハウを活かして、新しい目標を掲げてリスタートする日にしたいと決意を新たにしている河瀬さんのこれからのご活躍から目が離せません。

(文責・今井 穰)

飛驒を舞台にした映画「木樵」^{きこり}が秋に一般公開

面積の9割が山林に覆われる岐阜県飛驒地方。

そこでおよそ50年間、木樵の仕事で生計を立てている高山市滝町の面家一男さん・瀧根清司さん兄弟と

その家族・弟子たちの日常を1年にわたり追いつけたドキュメンタリー映画「木樵」。

兄弟が木樵として働く姿を通して、林業が今や待ったなしの森林の保全を担っている様子や、

森林と共に生活する「山の暮らし」の継承を描いている。

下呂市小坂町出身の監督による渾身の作だ。

ドキュメンタリー映画「木樵」制作の背景

私の親父は木樵でした。親父の背中を見て育った私は、すんなりいけばそのまま木樵になっていたと思います。ところが、映画が好きだったものですから、高校卒業後にある映画会社の募集広告を見て上京しました。現場で経験を重ね、テレビ番組のディレクターなどを務めました。が、NHKのドキュメンタリー番組を最後に高山に帰ってきました。ドキュメンタリー作家として映画を作り始めた頃から、「山のドキュメンタリー映画を作るぞ」と思っていました。

撮影を始めてからいろいろな発見がありました。彼らの技術は50、60年前と何ら変わっていないことに一番驚きました。唯一の変化といえ

ば、使用する道具が

のこぎりからチェーンソーに変わったくらい。近年では、林業も機械化が進み、林道を作り機械を現場に入れて木を切り出します。しかし、木樵のおじさんたちは山が荒れてしまうのを防ぐため、この道を作りませ

ん。山から材を出すときは、架線を引いて数百メートル上から木を吊って下まで運びます。「木を切るのは誰でもできる。問題は切った木を、どうやって土場まで出すかという技術で、それを俺たちは持っている」と木樵さんたちはこの仕事に誇りを持っている。

映画に出てくるのは5人の木樵で、木樵の兄弟と40代の弟子と20代



の新人です。あとを弟子に託すということが彼らの励みになっているので、撮影中も木樵さんたちに林業不況や人手不足に対する悲壮感は全然ありませんでした。それが一つの救いです。仕事は見て覚えるという世界なので、木の切り方をいちいち教えたりはしません。令和のこの時代にこんな山仕事をしている人がいるんだと知ってほしい。山を放置したままにしていると木は倒れるし、手

入れをしないと山は荒れる。木樵ってというのは、自然破壊ではなくて、山を守っているんだということも。しかも彼らはそれを意識せずに行っているんですよ。

この映画を見て、頭の隅っこに森林のことを置いていただき、山について考えるということがもっと広がれば、林業自体がなんとかなっていくんじゃないかと思っています。

(宮崎政記…ドキュメンタリー映画監督)

ナレーションは近藤正臣さんに決定

ナレーションを務めるのは、老若

男女に人気を

誇る俳優の近

藤正臣さん。

近藤さんは、

岐阜県の郡上

八幡で橋の上

から見た川の

美しさに感動

しこの地に移

住しました。



左から、近藤正臣さんと宮崎政記監督

配給・製作プロデューサーからのコメント

「山の重要性を伝え、山を護りたい」。

日本の森林保全推進につなげ、劇場公開したいという監督の一途な想いを聞き、この映画を応援したいと思いました。そこで、劇場公開を実現

するための資金支援をクラウドファンディングで呼びかけました。

本プロジェクトは日本特殊陶業さんが募集されていたマッチングギフト対象プロジェクト（目標金額の50%を支援するというもの）にも選ば

れ、目標額を達成することができました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。劇場公開は、名古屋の名演小劇場と岐阜シネックスが10月1日（土）より先行公開。東京及び全国の劇場は10月17日（月）より順次公開を予定しております。

(益田祐美子…配給・製作プロデューサー)

賛同し、支援する人々のことは

ドキュメンタリー映画を見て、登

場する人たちの仕事や生活ぶりから感じられる「人間的な豊かさ」に心を打たれた方々からの応援コメントも届いています。

制作支援をしている山田貴敏さん（笠原木材株式会社社長）は「自然に逆らわず、そのままを受け入れて、自分たちができることをやる。山の人には、人が生きていく基本が身についている。そんなことを思いました。この映画に出てくる『木樵』は、そういう山の人です」。

朝倉美江さん（金城学院大学教授）は「気候危機、格差の拡大に直面する今、縄文時代から続く木樵の生き方は、森や動物と人々が共に生き、地域の文化を創り、そこに悠久の時があることを豊かに伝えてくれる」。

音楽について

音楽はそれぞれ、エンディング曲「久遠」を日景健貴さん、劇中挿入歌を伊藤智美さん、横笛を雲龍さんが担当しました。

伊藤さんは、岐阜県下呂市出身のギタリスト。どこか懐かしい景色を想像させるような優しい音を奏でます。ぎふ八チドリ基金イメージソング「八チドリ」などの編曲、2019年4月には「若太郎のしだれ桜」の景観重要樹木（第1号）指定セレモニーにて「若太郎のしだれ桜」をイメージし作曲した「零れ桜」を演奏。また、下呂交流会館アクティブでアクティブ・オールスター・コンサートにも出演しています。



ドキュメンタリー映画「木樵」

10月1日（土）～名古屋・岐阜で先行公開。

前売りチケットのお申し込み、お問い合わせは平成プロジェクトまで。

HP: <https://heisei.pro>

MAIL: info@heisei.pro

FAX: 03-3261-3971

公式HP: <https://kikori-movie.com>

※公開日や公開劇場、舞台挨拶の日程は決まり次第公式サイトに掲載いたします。

ナレーション：近藤正臣

監督・撮影・編集：宮崎政記

製作プロデューサー：益田祐美子

出演：面家一男 澤和宏 瀧根清司 他

テーマ音楽：「久遠」日景健貴

横笛：雲龍

構成協力：大宮浩一 北里宇一郎

制作協力：山田貴敏 笠原木材(株) 岐阜県 高山市 飛騨市

配給：平成プロジェクト

宣伝：原麻里奈 ウフル

協賛：日本特殊陶業 新東通信 イオスコオペレーション 他

製作：2021「木樵」製作委員会

宮崎政記氏 プロフィール

ドキュメンタリー監督・映像ディレクター

1951年生まれ。岐阜県下呂市小坂町出身。

株式会社リクルート 映画製作部を退社後、映画専門学校にて映画制作について学ぶ。

卒業後はフリーの映像作家としてテレビ番組やドキュメンタリー映画を製作する。

テレビでは「プライム11」（NHK総合）「列島スペシャル」（NHK BS）などを手がけ、ドキュメンタリー映画では「2年あい組」/羊を飼う小学生の記録で日本動物愛護協会賞を受賞、「こどもたちの時間」/統合保育の記録や「よいお年を」/グループホームの記録ではキネ旬のベスト10入りを果たしている。

2020 岐阜にイラストレーターが集う

岐阜を中心に活躍するイラストレーターのグループが結集した「岐阜新文化会」。展覧会や展示会、作家との交流など、輪を広げている。音頭を取った如月れいなさんに、会の立ち上げや活動内容、今後の抱負などについて語ってもらった。

立ち上げのきっかけは2019年、如月れいな（揖斐郡池田町出身在住）主催の岐阜をテーマにしたイラストグループ展「光彩画廊（本巣市美術の森）」に集まった作家達が刺激を受けて、由愛乃ナカ、小島千枝らも地元をテーマにしたイラスト展示会や展覧会を主催したことです。

多くの展示会では絵を飾るだけでなく、グッズ販売や、作家在廊時には作業をしているところを来館者に見てもらったり、ライブペインティングをするなど、作家との交流の機会を増やし、より楽しくイラストに触れてもらうようにしました。また参加作家自らも楽しめるようキッカケになるよう考えています。

各展示会やイベントごとに主催者も参加作家も変わり、どのようなグループなのかかわかりにくい事があり、各主催者バラバラで宣伝活動や展示や参加作家募集・対応をしていくより、相談し、助けあひながら活動できるメンバーでまとまった方がよいのでは？・・・とアドバイスをもらい、展示会やイベントに積極的に参加していた地元在住の作家7人で



如月れいな「マンホールアート」



西嶋かずち
「民尊物阜 オリジナルキャラ キンカ」
（岐阜城金華山モチーフ）



西嶋かずち「戯れ篝火」
（長良川の鶺鴒モチーフ）



如月れいな「金神社」



如月れいな「梅林公園」



たくろう
「西垣農園オリジナルキャラもとこ」



小島千枝「日本最古の石博物館」



梅田裕子「十九女池の伝説 -関ヶ原-」

2020年9月に結成しました。さらに2021年11月には2人を加え、現在9人の中心メンバーで情報交換を行い話しあいながら活動を行っています。

とはいえ会期中に緊急事態宣言や蔓延防止が出ると県外のお客さんに来てもらいにくく、作家の在廊やお客さんをまきこんでのイベントは大々的にできなくなりました。元々、仕事や育児で都市部での同人の作品即売会やクリエイター向けのイベント、展覧会になかなか行けない・参加できないから、「身近な地元で、自分たちでやっちゃおう!」という考えから活動が始まりました。コロナ禍で大規模な催しができない状況で、身近な展示やイベントに気付いて注目してくれる人も増えてきたので、むしろ追い風に感じる時もあります。

ネットやSNSで仕事ができる環境は整ってきましたが、やはり、創作を楽しむ人達がリアルで情報交換や交流ができ、刺激を与え合える場を作りたいです。老若男女、絵が好きな子供達にも、「身近にこんな場があるんだ」と感じてもらえるといいですね!

コロナの状況を見ながら全国展開、海外展開も視野にチカラを蓄えつつ、岐阜の新しい文化としてイラストや地元の魅力を積極的に発信し続けていきたいです。



庭江つかさ 郷土菓子「みょうがぼち」の妖精をイメージ



Guttyo「長良川の花火大会」



由愛乃ナカ「ゆめのなか モネの池」



かつまれい「青の杜」



一瞬の永遠

岐阜県学生会館

多摩美術大学 4年 小林 滉佳



愛知県出身



大学生の4年間、岐阜県学生会館にはお世話になりました。

制作で徹夜することが多い私にとって、朝夕2食のご飯があることは本当にありがたく、帰れば誰かがいてくれるという環境からは沢山の刺激をもらいました。

私の部屋は寮の桜の木の目の前にあります。3度、この部屋で桜を見ました。

365日、毎日桜を見ていると分かるのですが、花が開くのは1年の中で本当に短い期間だけです。気付くといつの間にか蕾が膨らんでいて、ああ綺麗だなあと見とれている間に散っていつてしまつ。

そんな瞬間を閉じ込めたいから私は写真を撮っているように思います。

大学では主に写真を使った作品を制作していました。写真は誰にでも撮ることが出来ますが、同じカメラを使っても他人と同じものは決して撮れない。そこが写真の面白いところだと思っています。みんなそれぞれに見えている景色があり、全く違った世界の捉え方がある。言葉だけでは伝わらないその視点が、写真を通して不意に分かることがあります。

寮生活を送るなかで、永遠にしたいと思う光景に何度も出会いました。

徹夜明けの朝焼け、大量の洗濯物が揺れる影、ぐちゃぐちゃの冷蔵庫、今にも溢れそうな大きい湯船、空き部屋に差し込む夕日。そんな光景を目にするたび、夢中でシャッターを切りました。4年の間にそのコレクションはすいぶん増えました。でも本当に撮りたいと思う一瞬は、撮れば撮るほど次の瞬間へ逃げていつてしまふような気がします。

4月から私は寮を出て、新たな生活を始めます。

まだ知らない夜があり、まだ知らない朝がある。人生はこれからやってくる日々の方がずっと長いです。この先には沢山の見たことのない景色が私を待ち受けています。そのひとつひとつを忘れないように写真の中に収めていきたいです。

岐阜県学寮の取り組みと先輩との別れ

岐阜県学寮

明治大学3年 林 大空郎
専修大学3年 松本 悠



岐阜市出身



羽島郡笠松町出身

岐阜県学寮は東京都文京区にあり、約100名の男子大学生が寝食を共にしている。浴室やトイレは共同であり、食堂とともに食事をする。部屋は個室だが、寮生同士が部屋を行き来している。それが日常的な光景だった。学寮ではコロナ蔓延以降、幅広い感染対策が実施されたが、2022年1月に感染者が出てしまった。一昨年2月より、学生委員会を中心とした感染対策及び感染発生後の対応について報告したい。

まず、感染者の発覚後、PCR検査センターで働く寮生の協力により全寮生がPCR検査を受けることができた。日をあけて2回実施し、無事感染者以外の全寮生の陰性が確認された。その後、有識者の寮生の助言をもとに入浴を禁止しシャワーのみに変えたり、食堂にある一人用の机を一人用にしたりするなどの各種感染防止対策が行われ、現在まで新規感染者を発生させなかった。また、1月は来年度から就職される多くの大学4年生の先輩方が新居へと引っ越し時期でもあり、通常であれば先輩方を見送る予餞会が行われる。しかし、このような状況であるため式典の規模は縮小され、学生委員会メンバーなど代表者のみで粛々と行われた。お世話になった先輩も多かったため、先輩方と最後の思い出を作る機会を失ったことは非常に残念であった。本来であれば、寮に大量のご飯とお酒が届いて皆で大いに盛り上がり、先輩方と別れを惜しむのだが、結局私たちは一度も経験できていない。しかし、私たちと懇意にしてくださった先輩方から棚や服などを譲り受け、確実に岐阜県学寮魂は継承されたように思えた。この寮の先輩方は優秀かつ人格者が多いため、私たちも先輩方のように岐阜から日本全国へと羽ばたき、活躍できるような人間になれるよう努力を続けていきたい。



感染者の発覚後の学食風景



先輩方を見送る予餞会

をお祈りいたします。

東京岐阜県人会 名誉会長

松田 隆利

〒一六六〇〇一三
杉並区堀ノ内一四一―一〇五
TEL・FAX〇三(三三三)五七八二二

東京岐阜県人会 会長
一般社団法人吉村やすりの生命の環境研究所代表理事

吉村 泰典
慶應義塾大学
名誉教授

〒一〇二〇〇九三
東京都千代田区平河町一五―一五
VORT平河町九〇一
TEL〇三(三五一)五六七八
FAX〇三(三五一)五六七九

東京岐阜県人会 副会長
水町メディカルグループ代表 総院長
内科認定医

水町 重範

水町クリニック
水町保険診療所
水町エム・アールクリニック千駄ヶ谷
〒一六三〇〇七三
東京都新宿区西新宿一七―小田急第 生命ビル二階
TEL〇三(三三四)二八八(代)

東京岐阜県人会 副会長
一般社団法人運動従事者脳MRI健診支援機構 代表理事

水町 重範

〒一六〇〇〇〇四
東京都新宿区四谷一―三―四階
TEL〇三(六二七)八五五五

熊崎勝彦総合法律事務所

熊崎 勝彦

〒一〇五〇〇〇三
東京都港区西新橋一―二―三
虎ノ門法律ビルレジデンス一〇〇六号室
TEL〇三(三五〇)三六六一
FAX〇三(三五〇)三六六二

多治見北高同窓会 東京支部 会長
ミツイワ株式会社 代表取締役社長

羅 本 礼 二

〒一五〇〇〇四七
東京都渋谷区神山町二―八
渋谷神山町レジデンス一〇四
TEL〇九〇(一五五四)三〇〇九

東京岐阜県人会 幹事長
公認会計士 税理士

八 木 茂 樹

下呂市出身

東京岐阜県人会 名誉顧問
松久グループ

代 表
神 谷 一 雄

〒一〇五〇〇二二
東京都港区東新橋二―八―一
パラッツオアステック九階
TEL〇三(三四三)四七九三
FAX〇三(三四三)〇一三五

公益社団法人 日・豪・ユージランド協会

副 会 長
林 義 郎

〒一〇五〇〇〇一
東京都港区虎ノ門一―七―五
虎ノ門Rots 21ビル 7F

株式会社UACJ

代表取締役社長
兼社長執行役員
石 原 美 幸

〒一〇〇〇〇〇四
東京都千代田区大手町一―七―二
東京サンクイビル
TEL〇三(六二二)二六〇〇

明治神宮 権宮司
明治記念館 館長

江 馬 潤 一 郎

明治記念館
〒一〇七〇八〇七
東京都港区元赤坂二―一―三三
TEL〇三(三三三)七四六七九〇

貝印グループ

代表取締役
会 長
遠 藤 宏 治

〒一〇一八五八六
東京都千代田区岩本町三―九―五
K.A.I.ビル
TEL〇三(三六六)六四一一
FAX〇三(三六六)〇一〇五

飛騨産業株式会社

代表取締役
社 長
岡 田 明 子

〒五〇六八六八六
岐阜県高山市漆垣内町三―一八〇
TEL〇五七七(三三)一〇〇一
FAX〇五七七(三四)九一八五

在京(首都圏)岐阜高校同窓会

会 長
尾 関 良 平

東京岐阜県人会 総務企画委員長
多治見北高同窓会 東京支部 理事

小 原 久

御嵩町伏見出身

特定非営利活動法人
ぎふプロジェクトネットワーク

理 事 長
岸 田 哲 哉

〒五〇二〇〇〇三
岐阜市三田洞一丁目二十番三三
TEL〇五八(三三七)六二二二
FAX〇五八(三三七)七五〇九
<https://gifu42.net>

株式会社チューキョーP&G

常務取締役
小 池 宏 明

〒一〇三〇〇三三
東京都中央区日本橋本町三―九―四
日幸小津ビル七階
TEL〇三(五六四)三五五三(代)
FAX〇三(五六四)五三三三

株式会社関電工

特別顧問
後 藤 清

日本NCCR株式会社

代表取締役
社 長
小 原 琢 哉

〒一〇四〇〇三三
東京都中央区新川一―二―一
TEL〇三(六七五)六〇〇〇

美濃紙業株式会社

顧 問
近 藤 征 雄

〒一〇二〇〇二五
東京都足立区千住東一―三―三
TEL〇三(三八八)四九二二
FAX〇三(三八八)六四三九

東京岐阜県人会の発展

株式会社J・ART

代表取締役
坂井 哲史

〒五〇四一〇八一六
岐阜県各務原市蘇原東馬町四一六
TEL 〇五八 (三八九) 〇一〇
FAX 〇五八 (三七七) 一五〇

聖マリアンナ医科大学

呼吸器外科
教授
佐治 久

〒二六八五二
神奈川県川崎市宮前区菅生二一六一
TEL 〇四四 (九七七) 八一
FAX 〇四四 (九七七) 五七九二

アンダーソン毛利友常法律事務所外国法共同事業

弁護士
左 高 健 一

〒一〇〇八一三六
東京都千代田区大手町一一一
大手町パークビルディング
TEL 〇三 (六七七五) 一〇三五
FAX 〇三 (六七七五) 二〇三五

学校法人 清水学園 理事長

清水 孝一

〒一五〇〇〇〇二
東京都渋谷区渋谷一六一八
TEL 〇三 (三四〇〇) 二八八六
FAX 〇三 (三四〇〇) 二八六六

ジュピター法律事務所

弁護士
高井 和 伸
弁護士
高井 健太郎

〒六〇〇三
東京都新宿区新宿七二六一三七
TEL 〇三 (三三〇) 〇〇一七
FAX 〇三 (三三〇) 〇一七〇

弁護士・弁理士(シテイユーウ法律事務所)
金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科
研究科長 教授

棚橋 祐 治

〒一〇〇〇五
東京都千代田区丸の内一七一二
サビタワリ石油資源開発株式会社秘書室
TEL 〇三 (六二六八) 七〇一〇

TSUCHIYA株式会社

代表取締役
会長兼社長
土屋 智 義

〒一三五〇〇一六
東京都江東区東陽一丁目一番四号
TEL 〇三 (三六四) 五〇五
FAX 〇三 (三六四) 五〇二八

株式会社みずほ銀行

常任顧問
林 信 秀

株式会社 大和証券グループ本社

取締役会長
日比野 隆 司

平野 信 行

各務原市出身

東京都ラジオ体操連盟

理 事
堀内 喜司夫

〒一一二〇〇二二
文京区大塚三三三三七〇五
TEL FAX 〇三 (三九四) 四二二

株式会社 安部日鋼工業

専務取締役
松山 高 広

〒一六〇〇〇三三
東京都新宿区下落合一一三一八
SKビルS棟二階
TEL 〇三 (五九〇六) 五六二二
FAX 〇三 (五九〇六) 五二七〇

丸山由喜税理士事務所
(株)MCLINKパートナーズ
(有)Cultech代表取締役

丸山 由 喜

〒二五〇〇四二
東京都北区志茂一一五一六
TEL 〇三 (三九〇三) 五六六〇
FAX 〇三 (三九〇三) 五七四五

東京岐阜県人会 監事
瑞浪高校首都圏同窓会 幹事長

宮田 栄 子

株式会社 岐阜フットボールクラブ

取締役会長

宮田 博之



後援会募集中!
お申込は
こちらから
お願い致します。



山田社会保険労務士事務所

特定社会保険
労務士
山田 千 春

〒一七七一〇〇四四
東京都練馬区上石井一四八一〇二
TEL 〇三 (三九二九) 七〇三三
FAX 〇三 (三九二九) 七〇五〇

岐阜新聞社 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座8-16-6 銀座ストラパックスビル2階
TEL 03-6278-8130 (代) FAX 03-3545-8155

平成プロジェクト

映画・コンテンツ制作プロデューサー
代表取締役社長・CEO・Producer

益田 祐美子
MASUDA YUKIKO

株式会社平成プロジェクト

〒102-0092 東京都千代田区東船場3-19 西武ビル2階
TEL: 03-3241-3800 FAX: 03-3241-3801
同業組合 日本プロダクション協会 会長 山田千春氏 4377

(順不同)

コロナ禍の中で“この春新たな気持ちで作りたい”料理第1位は「体にいい料理」！
新型コロナウイルスの影響により自粛期間が多くなる中、「自宅で料理を作ることや食事することに幸せを感じる」という方は全体の86.0%という結果となり、またこの春新たな気持ちで作ってみたい料理の第1位には「体にいい料理」がランクイン。

新型コロナウイルスの影響による健康意識の高まりが窺える結果となりました。そこで貝印では人気料理家のワタナベマキさんとコラボレーションし「春豆のミネストローネ」のレシピを考案。

自宅時間が増えている今だからこそ、家の中で楽しむことのひとつとしてひと手間かかるおいしい料理に挑戦してみたり、ご家族やお孫さんと一緒に料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。

※貝印株式会社調べ

人気料理家・ワタナベマキさん考案 「春豆のミネストローネ」



【材料】

新玉ねぎ 1/2個 グリーンピース 10本 空豆 8本
トマト 2個 (400g) にんにく (みじん切り) 1片
白ワイン 80ml 水 100ml 塩 小さじ1/2
粗挽き黒コショウ 少々 オリーブオイル 小さじ2
パルミジャーノチーズ 適量

【レシピ】

- 1 新玉ねぎは1cm角に切る。グリーンピースはさやから実を出し、空豆はさやと薄皮をむく。トマトはざく切りにする。
- 2 鍋にオリーブオイルとにんにくを加え中火にかけ、香りがたったら新玉ねぎを加え透き通るまで炒める。
- 3 グリーンピース、空豆を加えさっと炒め、トマト、白ワイン、水を加えひと煮立ちさせアクをとる。
- 4 蓋をして弱火にし8分煮る。
- 5 塩、コショウを加え味を調える。
- 6 スープ皿に盛り付け、刻んだパルミジャーノチーズを振りかける。

【ポイント】

トマトから水分が出るので、水は少なめに具沢山のスープとして仕上げます。作る際のポイントとしてはやはりお野菜のカットですね！いろんな野菜をカットしていくので、SELECT100のキッチンナイフ・カッティングボードはコンパクトでとても重宝します。人工大理石の持ち手も持ちやすいので、上手に切るのをサポートしてくれます。

【ワタナベマキさんコメント】

新生活に向けた身体にやさしいレシピとして、春が旬のグリーンピースや空豆、新玉ねぎ、トマトを使用した季節感たっぷりのミネストローネを考えてみました。グリーンピース、空豆は鉄分、ビタミンCなど栄養が豊富で、この時期にはスーパーでも売っているのでぜひさや付きのものを使ってくださいね。香りや柔らかさが一段と感じられるはず。新玉ねぎも、旬ならではのフレッシュな味わいが魅力です。トマトの旬は夏だと思われがちですが、実は春が旬。春のトマトが持つみずみずしさには豊富なビタミンが含まれているほか、利尿作用などがあり栄養面でも味の面でも全体をまとめてくれる役割を果たします。



料理家 ワタナベマキさん
プロフィール

雑誌や書籍、イベントなどで幅広く活躍。グラフィックデザイナーを経て料理家の道へ進む。日々食べるものを美味しく丁寧に作るお弁当や朝ごはんなど、毎日の料理の参考になる著書を多数出版。近著に「ワタナベマキの10のお弁当」(扶桑社刊)がある。

Instagram
@maki_watanabe



【SELECT100】について

SELECT100は料理を通じて「幸せな時間作り」のお手伝いをするブランドです。料理を作る時間を幸せな時間に変える、誰もが心地よく料理を愉しめる基本の調理道具であることを目指しています。

ブランドサイト
<http://www.select-100.com>

米澤穂信氏が直木賞を受賞

岐阜県出身の米澤穂信氏が「黒牢城」で第166回直木賞を受賞した。戦国の世を舞台にした歴史小説で、今村翔吾氏の「塞王の盾」との同時受賞。選考委員代表の浅田次郎氏が、ともに「高水準だった」と評価。「黒牢城」には、選考委員のなかでは「せりふの巧みさを評価する声があった」という評も。

作家生活20年目にして念願の賞を手にしたこの作品は、すでにミステリーの大家として名声を確立した作家が満を持してチャレンジした戦国もの。戦国の知将・黒田官兵衛を「安楽椅子探偵」にしたら…というアイデアを作品化したもので、織田軍迫る荒木村重の有岡城に幽閉の身で官兵衛が推理をめぐらす。

本名は信一さん。1978年、飛騨市神岡町生まれで、幼稚園から中学まで地元の学校に通った。教職についていた父の転勤で高山市に移り県立斐太高校で学び、金沢大学卒業後に高山市内の大型書店、三洋堂高山店に勤務しながら小説を書いた。2001年処女作「氷菓」でデビュー。「インシテミル」

は映画化もされ、「満願」と「王とサーカス」はそれぞれミステリー小説ランキング史上初の2年連続3冠を成し遂げた。今回の「黒牢城」は昨年の山田風太郎賞も受賞している。

「米澤君は当時から作文が上手だった。」と話すのは小学校の同級生・大阪良一さん。また、「米澤君は元気な子でしたけど、よく図書館にもいて、ものしりなイメージがありました。わからないことがあると米澤君に聞く、という感じでしたね。」と語る小・中学校の同級生、倉住（旧姓小林）千佳さんは、実家の小林書店でかねて「米澤穂信コーナー」を設けていたが、直木賞受賞で「たちまち売り切れ。でも地元ということで特別に在庫を回していただいています。」と嬉しそうに語った。

お話好きな少年が長じて、書店勤務の傍ら小説を書き続け、ついに大輪の花を咲かせた。彼が以前勤務していた高山市の三洋堂書店は今や「聖地」化しているようだ。

北京五輪で岐阜出身者が大活躍

◆モーグルの堀島選手、日本人メダル第一号

フリースタイル男子モーグルで銅メダルを獲得し、北京冬季オリンピック日本人メダル第一号となった堀島行真選手は岐阜県池田町出身。中学時代に全国大会を制して、堀島選手が学んだ当時は男子校で、スポーツコースを設置していることから部活動が盛んな私立の岐阜第一高校の普通科スポーツコースに進学。部活はもちろんスキー部だった。高2の頃から世界ジュニア選手権に出場、高3でワールドカップの表彰台にも立った。中京大学スポーツ科学部で学び、20歳にして2017

年の世界選手権で史上初となるシングルとデュアルの2種目で優勝を果たした。トヨタ自動車に入社後もモーグル界のエースとして活躍。オリンピックは2018年の平昌大会が初出場だ。今回、「最後の1本を滑り切るまで安心できなかった」、「本当の夢は金メダルなので、またここから頑張りたい」と語る堀島選手。視線の先には既に2026年イタリアのミラノ/コルティナ・ダンベツォがある。なお2月18日には知事を表敬訪問し「清流の国ぎふ栄誉賞」を受け取った。

◆村瀬選手が女子スノーボード・ビッグエアで銅メダルを獲得

村瀬心椛選手は岐阜市出身。17歳3か月でのメダル獲得はフィギュア女子銀の浅田真央選手の記録を抜いて冬季五輪日本女子最年少となる。4歳からスノボを始め、小学5年で全日本スノーボード選手権大会・スロープスタイルで2位、18年

にはXゲームズビッグエアを13歳で制覇。21年のワールドカップ・ビッグエア開幕戦で優勝し、22年のワールドカップ・スロープスタイル開幕戦でも優勝している。村瀬選手も岐阜第一高校だ。

◆永井選手がノルディックスキー複合男子団体で銅メダルを獲得

日本勢屈指の走力を持つ永井秀昭選手は岐阜日野自動車に所属。13年世界選手権個人ラージヒル5位、14年ソチ五輪団体5位、17、19、21年世界選手権団体4位、18年平昌

五輪団体4位という成績を経ての悲願のメダル獲得だった。日本に実に7大会28年ぶりのメダルをもたらした。

(文責・荒垣さやこ)

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、当会のメインイベントである総会・懇親会が2年にわたり中止され、会員同士の交流の機会が極めて限られたものとなっている。本年は百二十周年という記念すべき年であり、今年こそは11月14日の明治記念館での総会・懇親会を実現したいものだ。

私たちの「ギフネット」も長らくリアル編集会議ができていない。オンラインと電話などでなんとかやっているが、例年のように皆集まってページ作りをする楽しさは若干減っている。

一方、今号で岐阜県人会インタナショナルの紹介記事を掲載したが、それまでは実現がなかなか難しかった世界中で活躍中の岐阜県人相互の交流が、逆にウイス・コロナのオンラインで広がったのご報告があった。

うれしいニュースをひとつ。戦後生まれの歌人を代表する河野裕子さんの業績をたたえて創設された「河野裕子短歌賞」が2月、第10回で終了した。この10年で総計十二万九千首を超える応募があったが、歴代各部門の最高賞から一般部門のグランプリとして選ばれたのは、揖斐郡池田町の太田宣子さんの「雨上がり世界を語るきみとあてつづきは家族になつて聞かづか」だ。本稿を書いている3月10日現在、ウクライナの首都にロシア軍がもうじき迫ろうかという状況だが、もしもしてご縁があつてウクライナから避難される方が首都圏のみならず岐阜県にも身を寄せられることもあるかもしれない。そんな場合には親身になって寄り添いたいものだ。

最後になりましたが、2007年8月から2011年8月にかけて会長を務められた加藤重義さんがお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

広報委員長 荒垣さやこ



ともに 価値ある未来を
創造してまいります



TOM AND JERRY and all related characters and elements © & TM
Turner Entertainment Co. (s22)



十六銀行

東京支店

東京都中央区日本橋本町4丁目1-10
TEL.03-3242-1661



JUROKU
Financial Group

シンクタンク事業

- ◆ アンケート設計・集計・分析
- ◆ 各種データ分析・解析／将来推計
- ◆ 公共事業計画策定支援
- ◆ 公共経営コンサルティング
- ◆ 法制執務支援
- ◆ 政策形成支援
- ◆ 各種研修企画・実施支援

クリエイティブ事業
DTP・Web

- ◆ 企画・制作
- ◆ 広報誌
- ◆ 取材・編集・制作
- ◆ 商業印刷・コンサルティング業務
- ◆ ディスプレイ制作(什器一般)
- ◆ セールスプロモーション企画
- ◆ ツール制作
- ◆ 選挙対策支援

あなたの
『もっと。』を
叶えたい。



博宣株式会社

東京都江東区東陽5-1-14

TEL:03-3647-0011 FAX:03-3647-0026